

十和田市 議会だより

No.79

6月定例会号

一般質問 …… P3～10



桜のまちの課題



宇樽部放置遊覧船の撤去



デジタル地域通貨の導入



中央病院の診療体制



元町東バス停の安全対策



災害関連死審査会の設置



漏水調査にAIの活用



音声コードの活用



エコツーリズムの推進



旅先納税の導入



先端モデル事業への関わり



旧洞内小学校の活用策



洪水・土砂災害防災マップ



高齢者への買物支援



高森山展望台などの整備

目次

議案審議の状況等 ……	P2
議会をのぞいてみませんか? ……	P11
全国市議会議長会表彰等 ……	P12

十和田湖SUPツーリング

(6月30日(日)／宇樽部キャンプ場)

議案審議の状況

6月定例会

令和6年第2回定例会は、6月3日から6月21日まで19日間の会期で開かれました。十和田市税条例の一部を改正する条例の制定など、議案12件、報告15件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

令和6年10月から 学校給食費を無償化 可決

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年10月から、小中学校の学校給食費を無償化します。



がん検診初回精密検査費を助成 可決

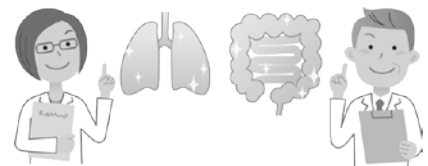
がん検診の精密検査の受診率向上を図るため、初回の精密検査費の一部を助成します。

◆対象者

市が実施する「肺がん検診」及び「大腸がん検診」で、要精密検査と判定された40～69歳の市民

◆助成金額

各がんにつき
上限6,000円



今号から、本会議及び各委員会の議員出欠状況を公開します。

※令和6年第1回定例会終了後から第2回定例会までの間に開催した会議

※「○」は出席、「×」は欠席、「－」は所属外

日付	会議名	総務文教常任委員					観光建設常任委員					民生福祉常任委員					巖石橋 義雄	出席人数(人)				
		氣田 量子	堰野端展雄	小山田剛士	太田 正幸	斉藤 重美	豊川 泰市	戸来 年和	久慈 峰尚	笹淵 洋子	小笠原良子	江渡 信貴	工藤 正廣	小川 洋平	山端 博	中尾 利香			山端美樹子	竹島 直樹	今泉 信明	中嶋 秀一
4月19日(金)	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
6月 6日(木)		○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
4月25日(木)	観光建設常任委員会	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	7
6月 7日(金)		—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	×	○	○	—	—	—	—	—	—	6
4月26日(金)	民生福祉常任委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	7
6月 4日(火)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	7
5月28日(火)	議会運営委員会	—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	×	—	○	—	○	○	○	9
6月 3日(月)		—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	10
6月19日(水)		—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	10
6月11日(火)	議会改革特別委員会	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	○	—	8
6月 3日(月)	第2回定例会(開会日)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
6月17日(月)	第2回定例会(一般質問①)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
6月18日(火)	第2回定例会(一般質問②)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
6月19日(水)	第2回定例会(一般質問③)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
6月21日(金)	第2回定例会(閉会日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22



戸 来 伝
(柊の会)

桜のまちを目指す際の課題は

老齢化による桜の更新が必要

問 十和田市を桜のまちとして盛り上げるためには桜の管理が大切と思うが、管理に当たる樹木医の人数は。

答 樹木医の資格を取得した職員1名が都市整備建築課に所属しています。

問 樹木医の職員は貴重な人材と思うが、職員の退職後を見据えた市の対応は。

答 育成状況の経過観察や病気の治療といったきめ細かい維持管理を継続するためには、樹木医の力が重要で必要不可欠と認識しています。しかし、定年退職により樹木医としての知識や経験、技術等の継承が困難になると予想されるため、今後の対応については、本人の意向を確認しながら、他市の事例等も参考にして検討していきたいと考えています。

問 桜のまちを目指す際の課題は。

答 官庁街通りの桜については、老齢化による樹勢の衰えから病気に罹患する桜も増えており、桜の更新が必要と考えています。官庁街通りの桜を観光客や市民に長く楽しんでいただくため、ソメイヨシノの後継木としてのジンダイアケボノを中心に、様々な種類の桜の配置について検討していきます。

問 風力発電に賛成の立場として質問する。固定資産税等の収入面や雇用創出の面など、市にかなりの利点があると思うが、市の考えは。

答 風力発電事業の実施には地元の合意形成を得ることが前提となります。現在県において、再生可能エネルギーと地域、自然との共生に係る新たな条例制定に向けた検討や、地域の視点に基づく合意形成手続について検討中であることから、県の取組を注視し、進捗を見守っていききたいと考えています。



山 端 美樹子
(自民公明クラブ)

災害関連死審査会の設置状況は

今後、設置に向けて検討する

問 2019年に自治体の災害関連死審査会設置が努力義務化されたが、当市の設置状況は。

答 現在は県に審査会の設置及び運営を委託できることから設置していませんが、委託した場合、認定までに時間を要するため、今後、設置に向けて検討したいと考えています。

問 災害時の罹災証明交付業務にあたる被害認定調査職員数は。

答 税務課固定資産税係の家屋担当4名の2班体制です。

問 罹災証明交付業務に係る研修の状況は。

答 県や各種団体が開催する研修会に都度参加しています。

問 女性の視点を取り入れた避難所運営の取組は。

答 「十和田市避難所運営マニュアル」では、女性のニーズや意見が十分に反映されるよう、避難所運営委員会への女性の参加、男女別更衣室や授乳スペースの確保、女性による生理用品や下着等の配布などを定めています。

問 避難所での性被害に対する取組は。

答 トイレや更衣室等を安心できる場所に設置し女性が巡回する、女性が対応する相談窓口を設置するなどの対策を講じています。

問 災害用井戸を整備する考えはないか。

答 様々な課題があるが、今後調査研究します。

問 災害関連死の予防対策として口腔ケアが重要と思うが、市の対応は。

答 避難所の手洗い場等に口腔ケアに関するリーフレットを掲示し、周知・啓発に努めます。

問 トイレカーの導入を検討しては。

答 現在のところ備蓄の簡易トイレや携帯トイレのほか、災害時応援協定による仮設トイレ等のリースで対応したいと考えています。



小山田 剛 士
(黎明親和会)

国の先端モデル事業への考えは

積極的に具体策を提案し 地域の魅力向上に取り組む

問 令和6年3月、十和田湖地域の休屋・休平地区が、国立公園制度100周年に向けた記念事業である「国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業」の対象地域に選定された。国では、マスタープランの検討、策定が令和6年度に計画されているが、当該事業における市の関わりは。

答 市が構成員として参画する十和田湖1000年会議において、どの施設をどの場所に誘致するといった土地の利用計画について検討することとしており、環境省が提案するマスタープランの素案の内容を確認した上で、市としての意見を述べていきたいと考えています。

問 国のマスタープランに対する市の考えは。

答 基本構想が生かされた観光地となるためには、土地の利用計画のほか、地域の担い手不足、交通アクセスなど様々な課題に対する議論も必要と考えており、宿泊施設の誘致や観光コンテンツの造成、二次交通の確保や自動運転などのIT技術の活用による交通の維持・利便性の向上についても積極的に提案しながら、十和田湖地域の魅力向上に取り組んでいきたいと考えています。

問 宿泊業など、観光に関わる人材育成に関する市の取組は。

答 十和田奥入瀬観光機構等と連携し、ガイド育成や大学生のインターンの受入れ、奥入瀬・十和田湖を活用した地元小中学生向けの教育旅行などに取り組み、未来の観光を担う人材の育成に努めています。

問 新たに接客力向上のためにセミナーを開催するとのことだが、令和6年度中の開催か。

答 十和田奥入瀬観光機構と連携し、開催を検討していきます。



中 嶋 秀 一
(自民公明クラブ)

宇樽部放置遊覧船の撤去 行政代執行できないか

引き続き県に要望する

問 宇樽部棧橋に9年間も放置されている遊覧船の撤去を行政代執行できない理由は。

答 行政代執行が可能かどうかの判断は、棧橋の管理者である県がすべきものと考えています。放置遊覧船の撤去について、引き続き県に対して要望していきたいと考えています。

問 耳が聞こえにくい来庁者の多い窓口へ軟骨伝導イヤホンを配置してはどうか。

答 軟骨電動イヤホンは耳が聞こえにくい方々が情報を得る効果が期待できると認識しており、今後、他自治体の使用状況を調査、研究していきたいと考えています。

問 障がいのある方の重度化や障がいの特性に起因した緊急事態などに対応し支援を行う地域生活支援拠点等事業について、事前登録をするメリットは。

答 関係機関と登録した方の情報を共有し、あらかじめ連絡体制の調整や協議などの支援準備ができることから、緊急時には適切かつスムーズな受入れや対応が可能となるほか、不安の軽減・解消にもつながり、障がいのある方や支援者、事業所のいずれにとってもメリットが大きいものと考えています。

問 十和田火山の緊急事態発生時、車のない人や要介護者など要支援者への避難対応は。

答 自家用車や乗り合いによる自力避難、自治体が手配するバス等による避難が原則ですが、介護を必要とする方など自力での避難が困難な方は、地域の共助による避難が必要と考えており、消防団や町内会を核とした自主防災組織等と連携し、要支援者の避難に努めていきます。



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

水道管の漏水調査にAIの活用を

効果的な調査方法を検討する

問 人工衛星とAIを活用した水道管の漏水調査について市の考えは。

答 AI等を活用した漏水調査を実施している他水道事業体の事例等の情報収集を行い、費用対効果を検証しながら、今後どのような調査方法が効果的か検討したいと考えています。

問 水道事業の経営状況から水道料金の改定は必要と考えているか。

答 人口減少による料金収入の減少と、施設更新投資の増大等により、令和10年度に当年度損益が赤字となり、留保資金の確保も厳しい見込みのため、近い将来水道料金の改定が必要と考えており、令和10年度以降の料金改定を視野に入れ、必要な取組を進めていきたいと考えています。

問 地域指導者を武道の授業の中で活用する考えは。

答 教員免許を有しない地域の人材や多様な専門分野の社会人を特別非常勤講師として迎え入れることにより、教科の一部を担当させることができます。しかし、県が任用するものであることから、県からの通知に応じて市立小中学校に活用を呼びかけたいと考えています。

問 市民図書館の経費削減やサービス向上の観点から指定管理者制度を導入する考えは。

答 導入による利点もありますが、事業者が一定期間で変更になると、図書館の継続性や安定性が損なわれる可能性があるといった課題もあることから、現時点では直営の方向性ですが、今後、指定管理者制度も含め、図書館サービスについて調査研究し、よりよい図書館運営に努めたいと考えています。



竹 島 直 樹
(柊の会)

旧洞内小学校の活用策は

市での利活用等を検討

問 廃校になった旧洞内小学校はどのように活用するのか。

答 体育館はつり天井構造であることから、安全性を考慮の上、地域利活用はしないこととし、校舎など他施設は、地域での利活用の希望がないため、今後は市での利活用を検討し、市による利用がない場合は、それ以外の有効活用に向けて検討することになります。

問 市の計画では、上下水道施設の更新に多額の費用が将来見込まれ、人口減少により税収が減る中で更新費用の低減化を実現しなければ財源不足が生じると推計しているが、低減化の具体策は。

答 施設の更新は老朽度と優先度を考慮し、重要性の高いものから行い、定期的な修繕による予防保全により、法定耐用年数よりも可能な限り長寿命化を図っています。また、中長期的な経営の安定と設備投資の最適化による適切な財源確保を目的として、上下水道経営戦略により、進捗管理を行っています。

問 市民の負担軽減のために申請書等の押印廃止を進めていると認識しているが、その進捗状況は。

答 令和3年度から市民や事業者から頂く申請、届出、その他の手続に必要な書面の押印等の約8割を廃止していますが、契約書、請求書、第三者が作成する証明書などは、引き続き押印等を求めることとしています。継続的に行政手続の簡素化に取り組んでいますが、前回の見直しから3年を経過していることから、他市の取組状況なども参考にしながら、押印等の廃止について改めて検証していきたいと考えています。



笹 渕 峰 尚
(黎明親和会)

デジタル地域通貨を導入しては

検討を続けたい

問 令和5年度に物価高騰対応などの商品券が市民に配布されたが、デジタル地域通貨を活用することで費用削減につながると考える。デジタル地域通貨導入に向けた市の検討状況は。

答 紙媒体の地域通貨に比べ、印刷・発送費用、発送期間の削減効果が期待される一方、システムの導入や維持管理費が高額となること、デジタル化に対応できない店舗、利用者への配慮など課題もあることから、先進自治体の事例などを参考にしながら、検討を続けたいと考えています。

問 デジタル技術の活用格差解消であるデジタルディバイド対策の状況は。

答 令和5年度はスマートフォンの基本的な使い方などについて、ふるさと出前きらめき講座を9回開催し、延べ200人以上の方が参加しました。今年度はLINEの使い方などの講義を実施していきたいと考えています。

問 奨学金の取組状況は。

答 市育英基金を活用した市奨学金貸与事業の貸与人数は、令和元年度32名、令和2年度28名、令和3年度22名、令和4年度32名、令和5年度36名です。返済不要の田中孝奨学生教育支援事業については、平成29年度の開始から令和5年度までの給付決定者数は90名です。

問 給付型奨学金を増員する考えは。

答 給付決定者が定員を超える状況にないことから増員は考えていません。

問 奨学金返還支援事業の概要と取組状況は。

答 前年度に返還した奨学金の2分の1、上限10万円を最長5年間支援するもので、補助実績は令和4年度13件、51万円、令和5年度87件、415万5千円です。



氣 田 量 子
(自民公明クラブ)

音声コードの活用を

庁内で情報共有を図っていく

問 視覚障がい者や高齢者など誰にでも優しい情報の伝達が必要と考えるが、その現状は。

答 視覚障がいのある方に対して、広報とわたの記事の内容を読み上げ録音したものを「声の広報」として配付しています。また、ホームページに音声データを掲載しているほか、拡大読書器や情報、通信支援用具などの購入費の一部を補助しています。

問 文字情報を2次元コードに変換したものをスマートフォンの専用のアプリを使ってカメラにかざし、その内容を音声で聞けるUni-Voice等の音声コードを市の印刷物や郵便物に掲載し活用してはどうか。

答 情報を得る環境の改善につながると認識しており、庁内関係部署と情報共有を図っていきたいと考えています。

問 HPVワクチンキャッチアップ接種の実施は今年度末までのため、対象者に最後の個別通知をすべきと考えるが市の対応は。

答 7月中旬をめどに、はがきでの勧奨を予定しています。

問 HPVワクチン接種の小中学校での情報提供を強化して欲しいと考えるが市の対応は。

答 小中学校で行われているがん教育を通して児童生徒に情報提供するよう呼びかけます。

問 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を何度も提案してきたが、市の考えは。

答 現時点で助成は考えていませんが、国で定期接種化に関する検討がされているため、今後も国や他自治体の状況を注視していきます。

問 高齢者の肺炎予防としてRSウイルス感染症の疾患の周知と予防の注意喚起をする考えは。

答 高齢者の集まる機会を捉え、関係課と協力し注意喚起を行っていきたいと考えています。



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

土砂災害警戒区域付近での 開発行為に関する対応は

速やかに現地確認を行う

問 十和田市防災マップに掲載されている洪水・土砂災害防災マップとはどのようなものか。

答 県が調査、公表している1000年に1程度程度の確率で起こるレベルの最大規模の大雨による洪水、浸水想定区域のほか、県が指定している土砂災害警戒区域等をハザードマップとして地図化したものです。

問 土砂災害警戒区域付近には人家があり住民が生活している。この付近で森林の開発行為が行われた場合、土砂災害の発生が懸念されるが、市民から開発行為の通報があった際の対応は。

答 通報者より詳細を聞き取りし当該箇所の特定制を行い、速やかに現地確認を行います。森林法による県の開発許可を要すると思われる案件の場合は、県へ情報提供を行い、以降は県が主体となり対応することとなりますが、県から要請があった場合には、現地の案内や調査等に協力するなど、適切な対策が講じられるよう県と連携することとしています。

問 観光客に対する防災面でのサポート体制は。

答 観光事業者と連携して観光客向けの災害時対応マニュアルの作成を進めるほか、観光施設などに最寄りの避難所の掲示、被災時の連絡窓口機能設置や多言語対応の周知チラシを配置するなど、観光客に安心、安全に滞在していただける環境を整備していきたいと考えています。

問 飼料高騰に対する畜産農家への支援策は。

答 家畜飼料を含む物価高騰の影響を緩和するため、令和4年度に農業資材等高騰対策事業継続給付金を、令和5年度にはエネルギー価格高騰対策事業者支援給付金と物価高騰対策事業者支援給付金を給付し、畜産農家を含む市内農業者全体に対して支援を行いました。



久 慈 年 和
(立憲農民クラブ)

中央病院の眼科の診療体制は

今年度から常勤医師2名体制に

問 中央病院の眼科の診療体制は。

答 令和5年度まで常勤医が不在だったため、応援医師による診察を週3日行ってきましたが、今年度から常勤医が2名体制となり、白内障手術を中心に手術件数も令和6年5月実績で約5倍に増加しており、患者のニーズに応えることができているものと考えています。

問 中央病院の消化器内科の診療体制は。

答 令和5年度末から常勤医が不在となり、現在は応援医師2名が月曜日から金曜日までの週5日、外来診療と主に内視鏡検査のみを行っています。入院しての胃、大腸のポリープ切除術はできませんが、内視鏡検査は外科と総合診療科で実施しており、前年度の検査件数の約7割をカバーしています。しかし、消化器内科では内視鏡手術ができないため、ポリープ切除を希望の場合は、他の医療機関を紹介しています。

問 三本木霊園の使用状況は。

答 令和6年3月末現在の一般墓地の使用状況は、第1種の使用区画が614区画、使用率97.8%、第2種の使用区画が2,607区画、使用率98.3%です。

問 管理手数料の滞納状況は。

答 令和6年5月末現在の滞納者数は49人、54区画です。

問 引継ぐ人がいなくなり放置されている無縁墓はあるか。

答 無縁墓かどうかの確認はしていませんが、草取りなどの維持管理がされていない区画は、令和6年6月7日現在で43区画あります。

問 無縁墓にならないための対策は。

答 早めに相手に接触し、無縁墓や滞納が増えないように努めます。



山 田 洋 子
(柊の会)

奥入瀬溪流エコツーリズム 推進全体構想認定の効果は

ブランド力、集客力向上に期待

問 地元関係者の尽力により令和6年5月に環境省等から認定を受けた奥入瀬溪流エコツーリズム推進全体構想により、地域に根づく自然や文化の価値を守りながら、その魅力を観光振興として有効に活用する取組につなげてほしいと考えるが、期待される効果は。

答 本構想は東北初の認定となり、当エリアのブランド力向上や、国においても積極的に周知することで集客力向上が期待されることから、観光客や地域住民、事業者などに広く周知し、理解が深まるよう取り組みたいと考えています。

問 令和6年3月、国から示されたガイドツアーの観光客輸送の規制緩和に関するガイドラインに対する市の対応は。

答 ガイド事業者が個人車両でツアー参加者の送迎を行う場合、道路運送法上の許可が不要となったことから、本格的な観光シーズン前に、観光事業者等を対象に、実施条件や注意事項等に関する研修会を開催したいと考えています。

問 第一中学校の移転作業の実施状況は。

答 令和5年11月末から令和6年3月末にかけて引っ越し作業を計5回実施し、業者委託も活用しつつ、滞りなく完了しました。

問 第一中学校の運動場を整備する考えは。

答 運動会開催前に転圧をかけて対応しましたが、他校に比べ行き届いていない面はあると考えており、教育活動に影響がないよう対応したいと考えています。

問 小中学校運動場からの土ぼこりに対し、保護者や近隣住民から苦情はないか。

答 市街地に立地する学校を中心に、年1、2件の苦情等があり、学校において水まきや防塵剤の散布により対応しています。



山 端 博
(明政一心会)

買物支援のため 移動販売は今後重要では

市民への情報提供に努める

問 高齢者人口が増える中、家の近くで買物ができることへのニーズは高まっていると思うが、過去3年間の移動販売業者数の推移は。

答 下表のとおり。(単位:事業者)

(令和) 年度	4 年	5 年	6 年
弁当・食料品の配達	6	8	8
生活用品の配達	5	5	5
移動販売 (移動車数)	1 (3 台)	1 (3 台)	1 (4 台)

問 移動販売事業に対する市の考えは。

答 市街地まで買物に行くことが困難な高齢者にとって移動販売は今後も必要であり、重要な生活支援サービスであると認識しています。引き続き民間事業者の情報を収集し、実施事業者を掲載した生活支援情報誌「ぐれっと」による市民への情報提供に努めたいと考えています。

問 スポーツ少年団の団体数と団員数の推移は。

答 下表のとおり。

(令和) 年度	元年	2 年	3 年	4 年	5 年
団体数 (単位:団体)	30	30	30	26	25
団員数 (単位:人)	588	561	561	518	535

問 スポーツ少年団に対する市の取組は。

答 市スポーツ少年団本部に対し、活動を支援するための補助金を交付しています。市スポーツ少年団本部では、スポーツ少年団が所管する県大会以上の大会参加料や、指導者の資格取得のための講習会受講料等の支援を行っています。

問 団員数拡大に向けて、募集案内等の掲示場所を提供する考えは。

答 学校や市の施設への掲示は快く進めていきたいと考えています。



小笠原 良子
(日本共産党)

元町東バス停の安全対策は

注意喚起を掲示

問 元町東バス停が国土交通省より交通安全上問題と思われる停留所に判定された理由と、その対策は。

答 バス停車時、横断歩道の前後5メートルの範囲に車体がかかる停留所として判定されました。対策として、運行事業者が飛び出し注意等の注意喚起を掲示しており、根本的な解決は、今後運行事業者と検討したいと考えています。

問 バス停の近くに駐輪場を整備する考えは。

答 路線バス利用に係る駐輪場整備は、利便性の観点から運行事業者が設置するものと考えており、今後、駐輪場の確保を働きかけるとともに、相談等があれば支援を検討します。

問 訪問介護事業所の人手不足等が全国的に問題となっているが、当市の現状は。

答 市内全17か所の事業所において、必要な介護サービスの量が確保されており、サービスの利用を制限される状況ではありません。

問 ^{ピーファス} P F A S (有機フッ素化合物) の水質検査を行う考えは。

答 令和5年10月に国からのP F A S濃度把握のための検査実施を求める通知を受け、市では、同年11月、検出のおそれのある全ての水道水源8か所の水質検査を行いました。いずれも定量下限値未満であり、安全性が確認できました。

問 (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業におけるゾーニングについて、市の考えは。

答 現在県では、新たな条例制定や自然保護などの考え方を見える化するためのゾーニングについて検討中であり、県の検討状況を注視し、進捗を見守っていききたいと考えています。



江渡 信貴
(自民公明クラブ)

旅先納税の導入を

今年秋に開始予定

問 ふるさと納税寄附を旅行先で行える旅先納税は、現地で決済ができ、その場ですぐに宿泊施設や飲食店等で使える電子ギフト等が返礼品として受け取れるため、観光客や出張に来た方々に有効な手段と思うが、導入の考えは。

答 寄附者の利便性が高く寄附につながりやすい有効な手段であることから、今年秋の開始に向けて準備を進めています。市では、こうした納税寄附ができる手段を増やすことで、寄附額の増加と観光消費への波及効果を高めていきたいと考えています。

問 親へのプレゼントなどのために住宅リフォームを返礼品に加えては。

答 住宅リフォームを返礼品として登録することは、総務省で示す一定の要件の下、可能であると認識しています。今後、返礼品募集の説明会などを通じて、住宅リフォームを行う事業者へ返礼品登録に向け働きかけをしていきたいと考えています。

問 寄附金の使い道を市民から公募する考えは。

答 市では、地域資源のブランド力向上や子育て環境の充実など10項目の用途を明示し、寄附者が用途項目を選択することにより事業への活用を図っています。現在のところ、用途を市民から公募する考えはありませんが、福井県坂井市で実施している寄附市民参画制度は、市民から寄附金の使い道を公募する全国で唯一の取組であり、今後の展開や動向を注視していきたいと考えています。

問 返礼品のアイデアを市民から公募する考えは。

答 返礼品の掘り起こしを行う際の手段の一つになるため、今後、広報などで募集したいと考えています。



太田 正幸
(立憲農民クラブ)

高森山展望台などの整備を

眺望確保などに取り組む

問 現在の高森山展望台は、樹木に阻まれせっかくの絶景が見られない。整備する考えは。

答 11月頃をめどに剪定等を予定しています。

問 当市は消滅可能性自治体に分類され、さらなる人口減少対策の取組が必要な一方で、公共施設も維持していかなければならない。今後の市財政への考えは。

答 人口推計などを踏まえた財政シミュレーションを行い、財源も有利なものを優先するなど、将来世代に負担を残さぬよう努めています。

問 環境省では、暑さ指数の予測値が35に達する場合に熱中症特別警戒アラートの情報提供を開始したが、小中学校における熱中症対策は。

答 かねてより危機管理対応マニュアルを作成しており、アラートが発表された場合、学校長はルールにより対応し、児童生徒の安全確保に努めています。

問 市職員への暴言や脅迫、不当な要求、パワハラなど、著しい迷惑行為、いわゆるカスタマーハラスメントへの対策は。

答 国では、人事院勧告にカスタマーハラスメント対策に関する内容を盛り込む方向で検討が進められており、その動向を注視しながら、職員を守るために必要な対策に取り組んでいきたいと考えています。

問 市役所内の業務を通年輕装とする考えは。

答 市民に不快感を与えることのないよう配慮し、今年度中の実施に向け、検討を進めます。

問 市職員の名札着用を見直す考えは。

答 着用そのものを廃止する考えはありませんが、名札表記のあり方について検討します。

～市政に届いた市民の声～

皆さんの代表である議員が、一般質問などで取り上げたことが実施されます！

がん患者への医療用ウィッグ等の購入助成！

●事業の趣旨

がん治療による外見の変化を補う医療用補正具（医療用ウィッグ、乳房補正具等）の購入費用の一部を助成し、がん患者の心理的・経済的負担を軽減することで、就労などの社会復帰を促します。

【議員は、がんになっても安心して自分らしく生きることのできる共生社会の実現を訴えました】



病児・病後児保育事業の利用料無償化！

●事業の趣旨

安心して子育てができる環境の充実に向け、病児・病後児保育に係る利用料を無償化し、子育てと仕事の両立支援及び経済的負担の軽減を図ります。

【議員は、子育てと仕事の両立、女性の社会進出に向けた環境づくりの必要性を訴えました】



第3子保育料無償化！

●事業の趣旨

安心して子育てができる環境の充実に向け、第3子以降の3歳未満児に係る保育料を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。

【議員は、多子世帯への経済的支援や保育サービスの強化を訴えました】



このほかにも、農業振興、観光振興、教育支援など、さまざまな事業に市民の声が反映されています。

議会をのぞいてみませんか？

十和田市議会では、開かれた議会運営を目指しています。
皆さんも、議会の様子をのぞいてみませんか？

方法①：議会を傍聴する

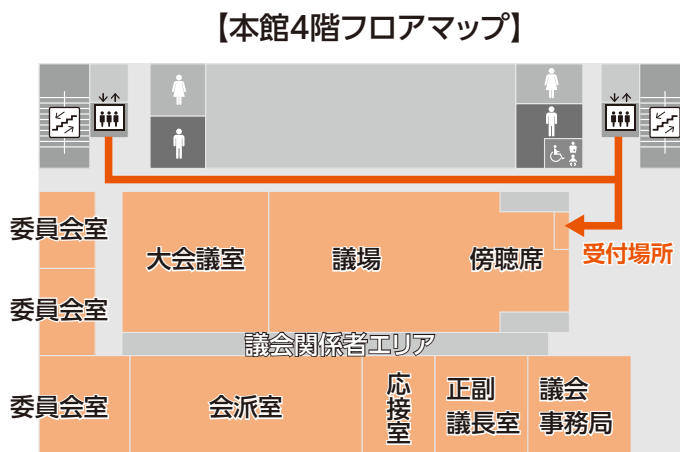
＜受付場所＞

市役所本館 4 階 議場傍聴者入口

＜傍聴までの流れ＞

- ①入口にて「傍聴券」の交付を受ける。
- ②傍聴券に住所、氏名、年齢を記入する。
- ③記入後の傍聴券を係員に提示し入場する。

※議場傍聴者の定員は44名で、先着順です。



方法②：インターネット中継を見る

パソコンやスマホ等で、本会議の様子がいつでも視聴
できます。(生中継・過去の録画映像)

議会ホームページからアクセスするか、YouTube ア
プリ等で『十和田市議会』と検索してください。



チャンネル
登録も
よろしくね!

方法③：会議録を見る

平成17年以降の**定例会・臨時会**の会議録を
公開しています。

議会ホームページからご覧ください。

方法④：ホームページ

議員の情報、議会日程、政務活動費、議長
交際費の状況など、議会にまつわる様々な
情報が確認できます。



議会ホームページ



議会中継



会議録検索



ご功績をたたえて ～全国市議会議長会表彰～



議員在職 25 年以上
工藤 正廣 議員

議員在職 25 年以上
石橋 義雄 議長

議員在職 20 年以上
堰野端 展雄 議員

全国市議会議長会定期総会で、石橋義雄議長と工藤正廣議員が議員在職 25 年以上、堰野端展雄議員が議員在職 20 年以上の特別表彰を受賞されました。

このたび、表彰状が伝達されるとともに、市政発展の功労者として市長から表彰状が授与されました。



請願

新たに受理し、継続審査となりました

○（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願
（請願者）

・惣辺牧野畜産農業協同組合
代表理事組合長 下佐賢悦 他 3 名

令和 6 年第 3 回定例会の開催予定

8 月 26 日（月） 本会議（開会）
9 月 10 日（火）
11 日（水） } 一般質問
12 日（木） }
9 月 20 日（金） 本会議（閉会）

決算審査特別委員会

9 月 17 日（火）、18 日（水）
※会議の開始はいずれも午前 10 時からです。
※各常任委員会の開催予定日は未定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは
議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

議会だより編集委員会では、より多くの市民の皆様にご覧になっていただけるよう定例会ごとに会議を行なっています。

「表紙はこの写真がいいよね」「見出しをつけよう」「週刊誌のようにしよう」「見やすいように文字数を削って写真を増やそう」等、協議を重ねて議会だよりを作り上げています。

今号からは、表紙に一般質問者の見出しを採用し、誌面内には、昨年の市民との意見交換会においてご意見をいただいた本会議・各委員会の議員の出席状況を載せております。

今後もアップデートを繰り返し、拝読・拝聴される議会だよりを目指してまいります。

（文責 山 端 博）

議会だより編集委員会

委員長	中 嶋 秀 一	副委員長	小山田 剛 士
委 員	山 端 美樹子	委 員	太 田 正 幸
//	竹 島 直 樹	//	中 尾 利 香
//	山 端 博	//	氣 田 量 子

